

「当院における、栄養サポートチームと歯科（口腔ケア）との関わりについて」

松阪中央総合病院 城貴子 1) 近田紀子 2) 若山郁子 3) 出崎良輔 4)

1) 薬剤部 2) 歯科衛生士 3) 栄養科 4) 外科

当院は、地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・災害拠点病院として、病床数440 平均在院日数13.7日の急性期病院であり、栄養サポートチーム加算については2011年度より算定を開始している。

活動を継続していく上で多職種と必要に応じて連携をしており、特にリハビリ科 嚥下チームとの連携、歯科衛生士による口腔ケアの介入依頼などでの連携が多くなっている。

近年では、心臓血管外科の周術期での予定手術において、入院時からの介入ではありますが、術前に、ほぼ全症例NST介入を行い、必要に応じてSST（口腔ケア中心）に介入依頼を行う試みを行っている。また、胃瘻造設後の在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料算定において、経口摂取の回復に向けた指導管理(口腔衛生管理に係わるもの)で歯科衛生士の方との連携を深めている。当院の歯科衛生士は、週3回 午後から1名のみ非常勤での在籍で、松阪地区歯科医師会口腔ケアステーションにも所属しており、在宅介護となる方への退院前からの介入と、可能な限り退院後も継続して訪問歯科診療にも関わり、情報共有を行っている。今回、当院の栄養サポートチームと歯科（口腔ケア）の連携、取り組みについて報告する。